

## 1 ご 使用 前 の 注 意

- 本製品にはお買い上げの日から1年間の保証がついています。(ただし、内蔵のカドニカ電池、吸盤などの消耗部品は保証の対象にはなりません。)
- 万一、製品本体にロット番号シールが無い場合は、商品をご使用になる前に弊社へご連絡ください。
- 保証書には、必ず「販売店名」「お買上げ日」が記入されているか、記載の内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 本製品の分解や改造は絶対にしないでください。
- 本製品は、レーダー方式(Xバンド・Kバンド)の速度取締り機のみ有効で、光電管式・ループコイル式・ワイヤー式等、他の方式による速度取締り機には反応しません。
- 取締りレーダーと同一周波数のマイクロ波を使用した機器(下記)周辺で、レーダー受信機が受信することがありますが、これは誤作動ではありません。あらかじめご了承ください。
- (自動ドア・防犯センサー・車両通過計測器・気象用レーダー・航空用レーダー)
- 一部のナビゲーションシステム(走行車において、ナビゲーションシステムからの漏れ電波により、レーダー受信機が誤作動する場合があります)。
- 太陽電池の発電量は使用環境(気象条件・駐停車中の日照状況等)の影響を受け易く、通常の使用状態よりも早く電池が消耗する事があります。この様な場合、シガープラグからの併用充電を行ってください。
- 断熱ガラス装着車(レーダー波の透過率が低いため、探知距離が短くなるおそれがあります。(弊社セパレートレーダー受信機のご使用をお薦めします。)
- 本製品はDC 12V車専用です。したがって充電は、必ずDC 12Vをご使用ください。(DC 24Vは使用できません。)
- 使用初期は、本機に振動を与えるながらバッテリーチェックスイッチを押しレベル、バッテリーチェックLEDが緑色に点灯すれば充電は不要です。赤色ならレベル、バッテリーチェックLEDが緑色になるまで充電してください。
- 内蔵のカドニカ電池は約5年が交換の時期となります。但し、使用状況によっては寿命が短くなります。
- 車を長時間ご使用にならないときは、必ず本製品の電源をOFFにしてください。
- 部品の交換・修理・バーソナル購入に関しては弊社サービス部へお気軽にお申しつけください。
- 本機を廃棄地でご使用になるときは、付属のシガープラグをご使用ください。
- 環境保護と資源の有効利用をはかるため、寿命となった本機又は、電池の回収箱を弊社に設置しております。

※本製品を取付けてのスピード違反に関しては、弊社では一切の責任を負いかねます。

## 3 充 電 の 方 法 と 注意

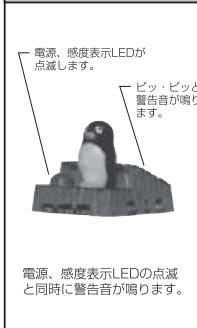
- 本機に振動を与えるながらバッテリーチェックスイッチを押し、レベル、バッテリーチェックLED(エンジンの目)が緑色なら充電は不要です。
- 本機に振動を与えるながらバッテリーチェックスイッチを押し、レベル、バッテリーチェックLED(エンジンの目)が赤色の時もしくは、使用中にチャージサインが表示されたら付属のシガープラグコードで充電を行なってください。



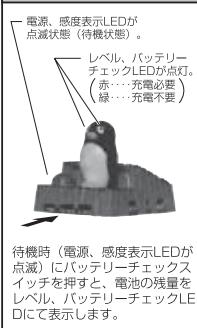
### 充電時の注意

- シガープラグからの充電は、DC 12V以外では行わないでください。
- 本機の温度が-5°C~+80°Cよりも高い時は充電しないでください。
- シガープラグからの充電中、テレビやラジオなどに雜音が入る時や、雜音が入らない場所へ本機を移動させてください。
- 本機内部の電力が約半分以下の状態になると、充電状況によっては充電が停止する場合があります。
- シガープラグが車から完全に抜けるまで、本機の電源を切った状態で約3時間必要です。
- 本機をバッケージ等に直接接続しないでください。必ず付属のシガープラグをご使用ください。
- チャージサインが点滅する時にシガープラグからの充電を取り返すと、まれに電池にクセがつき、電池の容量が残っていないでもチャージサインが点滅するようになります。このような場合、ソーラーパネルに太陽光をあてて完全放電させてから完全充電を2~3回繰り返してください。電池が寿命でない場合は復元します。

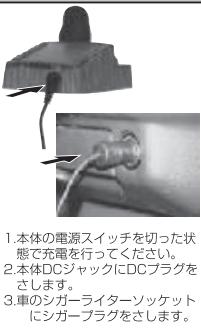
### チャージサインの表示



### バッテリーチェックの表示



### 車からの充電方法



## 5 LSC-Vのセット方法

- LSC-Vは駐停車中にムダな警告音や電池の消耗を抑える為、車の走行振動を(30~40km/h以上)を検出して電源の入・切を自動的に行います。
- 本機の取付け場所によっては、オーディオのスピーカー・エアコンの風・ワイヤー作動時の振動等の影響でLSC-Vが正常に作動しない場合があります。そのような場合は、影響のない場所へ付け替えてご使用ください。
- 本機の取付け場所によっては、車の走行振動を検出できずLSC-Vが正常に作動しないことがあります。  
(下記項目を参考にしてください。)

取付け場所	振動の大きさ
フロントガラス	大
ダッシュボード 金属ステー	中
ダッシュボード ダッシュボード用ステー	小

### 1 エンジンをかける



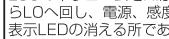
### 2 電源を入れる



### 3 感度の調節をする



### 4 確認

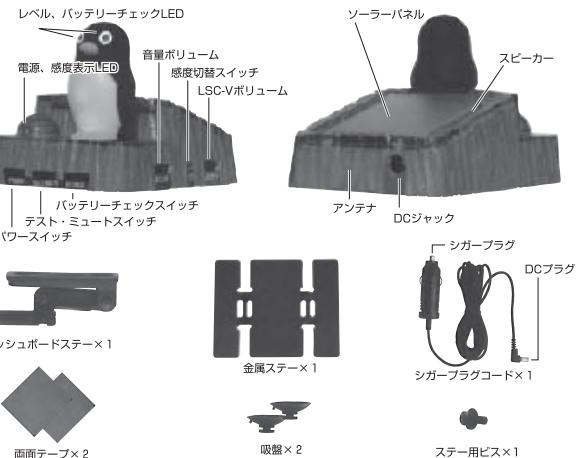


車を30~40km/h以上で走行時、電源ランプが点滅すれば設定完了。

### 注意

振動や雨風の激しい場所へ駐車するときは、本機の電源を切ってください。

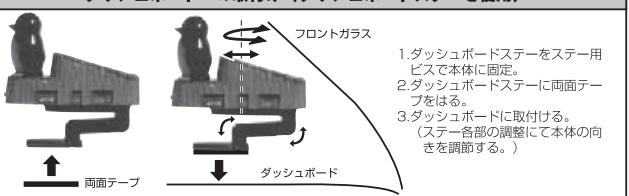
## 2 各 部 の 名 称 と 付 属 品



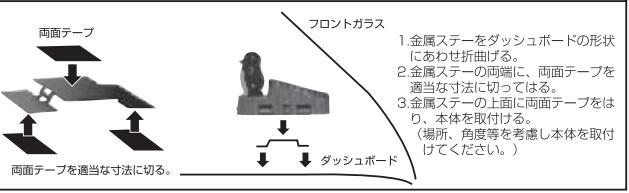
## 4 本 機 の 取 付 け 方 法

- 本機取付け時は、必ず付属の取付けステーを使用してください。
- アンテナを車の進行方向に向かって路面に対して平行で、ソーラーパネル全体に太陽光があたる場所に取付けてください。

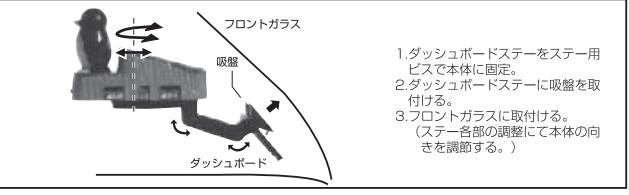
### ダッシュボードへの取付け(ダッシュボードステーを使用)



### ダッシュボードへの取付け(金属ステーを使用)

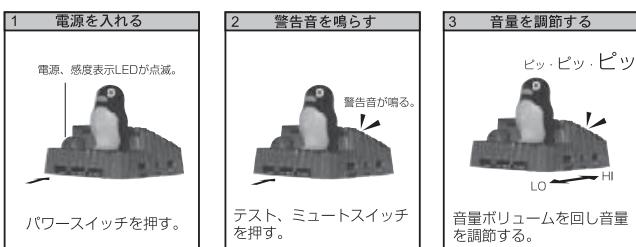


### フロントガラスへの取付け



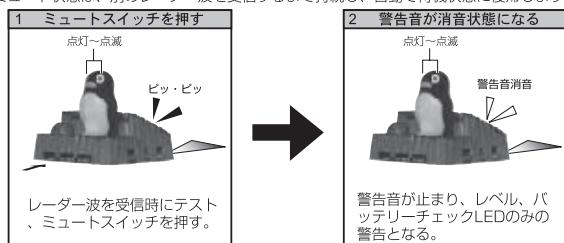
## 6 音量の設定方法

●走行状態（30～40km/h）と同等以上の振動を常に与えながら操作してください。



## 8 ミュートの使用方法

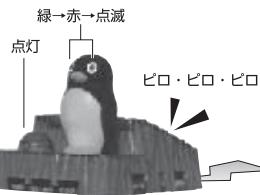
- レーダー波の発信源を確認し、まだ警告音が鳴り続ける状況時に、テスト、ミュートスイッチを押すと、レベル、バッテリーチェックLEDは受信状態のままで警告音だけをカットします。
- ミュート状態は、別のレーダー波を受信するまで持続し、自動で待機状態に復帰します。



## 10 受信機能について

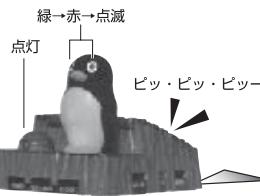
### ステルス波の受信

- 200～300m前方の車がステルス型取締り機によって測定された時、電源、感度表示LEDの点滅が連続点灯し、ステルス音（ピロ・ピロ）で約3秒間警告後、通常警告音に変わり、レーダー波の発信源までの距離に応じてレベル、バッテリーチェックLEDの変化で警告します。
- 自動ドアやセキュリティシステム等でもステルス型取締り機と同じ電波分布になった場合、ステルス音が鳴ることがあります。



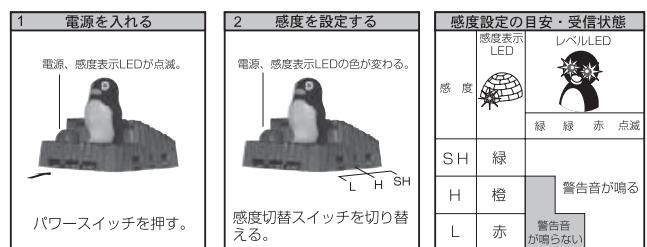
### 従来レーダー波の受信

- レーダー波を受信すると電源、感度表示LEDの点滅が連続点灯し、レーダー波の発信源までの距離を警告音とレベル、バッテリーチェックLEDでお知らせします。
- レベル、バッテリーチェックLEDが緑の点灯→赤の点灯→赤の点滅をします。



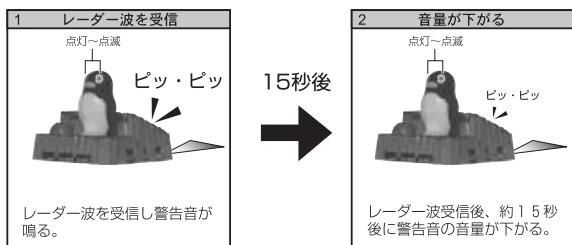
## 7 受信感度の設定方法

●走行状態（30～40km/h）と同等以上の振動を常に与えながら操作してください。



## 9 オートボリュームダウンの作動方法

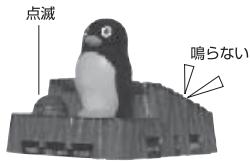
- 同一レーダー波を1.5秒以上受信し続けると自動で警告音の音量を下げ、不要となった警告音と電池の消費を抑え、静肃性を向上させます。



## 11 機能用語の説明

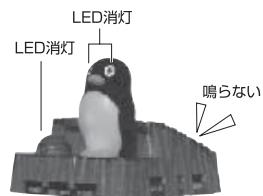
### 待機状態

- パワースイッチ入で、電源、感度表示LEDが点滅して、警告音は鳴っていない状態。



### LSC-V作動状態

- パワースイッチ入で、全てのLEDが消えて、警告音も鳴らない状態。



## 12 仕様

品名／品番	Winky／BF-01S
電源電圧	3.6V (耐熱用カドニカ電池)
電池容量	200mAh
充電入力電圧	12V
消費電流	待機時3mA 最大時60mA
受信周波数	Xバンド (10.525GHz) Kバンド (24.200GHz)
受信方式	ダブルスパーーヘテロダイン方式
検波方式	FMトラッキングタイムカウント方式
温度範囲	-10°C～+80°C
充電許容温度	-5°C～+80°C
本体サイズ	W 76mm L 106mm H 71mm
本体重量	170g